西日本新聞
2017年3月5日（日曜日）

自治体 非正規にボーナス

自然の中で遊ぶ楽しさを「げ」手にした図鑑をめくる「高齢ドライバーの認知症」第係を新設し7人を配置「されたと発表した」署による「大分県病院」西郷嶋（55歳）

山好き必携、情報満載！
九州の登山口401
●出版部 書店で好評発売中。

福間病院
精神科 心療内科 内科 歯科
福岡県福津市花見が浜1丁目5番1号
☎0940(42)0145(代表)

（第3種郵便物認可）

欧州からの風
TAO海外公演通信

修正加えベスト演奏

私が欧州ツアーに参加するのは2度目で、前回同様、先輩方に大変お世話になりながら、日々公演を行っている。

連続7日間の公演を終え、今日は終日移動の日。ベルリンへ向かう車中、ベルリン・フィルハーモニーの曲を聴くという、日本では絶対にできない格別の経験をした。

カラヤンが指揮する『アッピア街道の松』がクライマックスに…。

「チャンチキ」「ピーヒャララ～」「トントコ」

カラヤンの壮大な指揮も、練習熱心な私の仲間が繰り出す音でかき消されてしまう。

しかし、音楽があふれるそんなTAOのバスが、私は好きだ。

最近のバス内での席替えで隣になった、皆の胃袋担当（食事担当）高山さんと、「今日の昼ご飯はなんですか～？」という話がいつも、琴の話になる。3月のスペインツアーでは琴に初挑戦の高山さん。他のメンバーも新しいポジションに向け、日々格闘中。私も負けじと、先輩の見よう見まねで購入したLOGICというソフトで作曲に試みる。そうやって、今日もきっとにぎやかな移動日になるのだ。

荻野靖晃さん

移動した公演先で、さらに私たち14人の音楽は熱を帯びる。1カ月半たった今もなお、現状の演目に修正点、変更点を加え、「新しさ」が途切れることがない。それはひとえにリーダー岸野さんの卓見があってのことだ。

お客さまにとっては、初めて見る公演も、自分たちにとっては、何十回と繰り返して来た公演。いつまでもわくわく感を保つためには、ちょっとした変更点などが、抜群の効果を発揮する。それを指導してくれるリーダーの大きな懐が、ツアー残りわずかとなって、痛いほど心に染みる。

欧州ツアーは現在折り返し地点。しかし最後の1カ月は10人でのスペインツアー。つまり4人は今月初旬に帰国する。残念ながら私はその1人だ。一足先に日本に帰るが、残りのメンバーの帰国はさらに1カ月先。まだ離れてもいないのに、もうすでに、スペインから帰って来たメンバーとの再会に思いをはせている自分がいる。こういう瞬間、改めて良いチームでやらせていただいていることに気付かされる。

（DRUM TAO アーティスト 荻野靖晃）

ドイツ・ベルリンにあるブランデンブルグ門の前にて